

五、民俗文化財調査（諸職調査）

県内各地に伝承されてきた様々な生活用品等を製作する伝統的技術は、近年の技術開発と生活様式の変化によって急速に衰退しているため、これらの技術をもった職人の様々な職種（諸職）を緊急に調査し、記録保存を図る。

- 昭和六十年年度 九十種調査
- 昭和六十一年年度 六十種調査
- 報告書刊行

六、「中世城館跡」調査

近年、開発行為により、影響が懸念される中世の城、館、屋敷、砦、烽火台、物見台跡等を中心とする関連遺跡について、位置、規模、遺構の残存状況、周辺の歴史的状況等について調査し、記録保存を図る。

- 昭和六十年年度 基礎調査
- 昭和六十一年年度 本調査
- 昭和六十二年年度 補足調査
- 報告書刊行

七、「福島県の指定文化財」（要録）の作成

県指定文化財の指定内容等を集録、解説した「福島県の指定文化財」（要録）を、昭和五十八年度から三か年継続で作成しており、本年度刊行する。

八、文化財保護指導者講習会

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図ることを目的として、次のとおり開催した。

表11「歴史の道」調査一覧表

昭和57年度調査	昭和58年度調査	昭和59年度調査	昭和60年度調査	番号	街道名	距離km	区 間	参 考
○				1	奥州道中	120	白坂—白河—郡山—福島—貝田(仙台方面へ)	奥州諸大名参勤交代の道
		○		2	浜街道	120	酒井—窪田—平—小高—相馬—新地(仙台方面へ)	浜通り主要街道
○				3	米沢街道	30	八丁目(松川)—平田—大森—庭坂(米沢へ)	羽州街道の脇街道
○				4	羽州街道	10	桑折—小坂—小坂峠(山形・秋田方面へ)	出羽国の大名道
		○		5	水戸街道	61	矢吹—棚倉—東館(矢祭)(水戸・常陸太田方面へ)	古代文化伝播の道
○				6	相馬街道	66	本宮—針道—比曾—飯樋—草野—中村	中通りへの塩の道
		○		7	岩城街道	70	本宮—三春—船引—小野—平	いわき地方と中通り物資交換の道
		○		8	御斎所街道	(67) 37	(須賀川)竹貫(古殿)—皿貝—常磐湯本	石川・いわき地方を結ぶ主要道
	○			9	白河街道	80	若松— ^{背炙峠} — ^{滝沢峠} —福島—勢至堂峠—白河	会津藩主参勤交代路
	○			10	南山通り	64	若松—福永(本郷)—大内—田島—糸沢(今市方面へ)	参勤交代と仲付駕者の道
○				11	二本松街道	53	若松— ^{大滝寺} — ^{滝沢峠} —猪苗代—揚枝峠—本宮—二本松	会津への物資流入路
	○			12	米沢街道	47	若松—塩川—熊倉—大塩—桧原—桧原峠(米沢へ)	伊達政宗会津侵入の道
	○			13	越後街道	43	若松—坂下—塔寺—鐘撞堂峠—野沢(津川・新潟方面へ)	越後からの塩の道
			○	14	沼田街道	184	若松—坂下—柳津—只見—古町—桧枝岐—尾瀬(沼田へ)	会津半周の主要街道
			○	15	八十里越	20	叶津(只見)—八十里峠—鞍掛峠(新潟県下田村方面へ)	奥会津への文化流入路
			○	16	六十里越	25	只見—田子倉(大白川・小出方面へ)	越後へ青芋輸出の道

○日時 昭和六十年七月二十五—二十六日

○場所 三春町中央公民館

○講義及び講師

「歴史資料について」

(財)福島県文化センター

歴史資料課長 菅田 宏

「久川城跡の指定と保存」

伊南村教育委員会

教育長 大桃 博

「地名研究の動向と調査の方法」

千葉大学助教授 谷川 彰英

「歴史民俗資料館の役割」

三春町歴史民俗資料館

館長 松本 登

「天然記念物の保存」

福島県総合緑化センター

参事 安藤 英雄

「縄文人の食生活」

名古屋大学助教授 渡辺 誠

○施設見学 三春町歴史民俗資料館

九、第六回福島県民謡まつり

近年の急速な社会情勢の変化は、生活様式や風俗慣習などに大きな変化をもたらしている。それだけに、生活や仕事に密着して伝承されてきた民謡も変化をとげ、古来の姿を日ごとに失いつつある。

これらの民謡を発掘して、一般に公開し、文化財としての価値の認識を深めるとともに、記録保存を図り、将来に伝えることを目的として開催している。本年度は、次のとおり開催した。